

NPO法人ムーミンの会

# ムーミン保育園

## 自己点検・自己評価 集計表

2024年度

# NPO 法人ムーミンの会

## ムーミン保育園自己点検・自己評価表 2024年度

### 法人の理念

- ・平和と平等を希求し、子どもの人権を尊重しながら、保育を必要とする児童の適切な保護とよりよい成長と発達を保障します。
- ・家庭と連携して、子どもの1日24時間の生活と発達を保障します。

### 保育方針

保護者との緊密な連携の下、次のような方針で一人ひとりの発達のプロセスを重視しながら保育をしていく。

\*子育ての科学に基づき、ヒトとしての生体の生活リズムを守り育て、子どもの発達を保障する保育

- ①生活に科学的視点をもつ保育 ②ヒトの発達を保障する保育 ③統合保育・障害児保育
- ④快食保育 ⑤仲間と向かい合い育ち合う保育

### 保育目標

- ①ヒトとしての生体の生活リズム ②直立と直立状二足歩行と運動の巧みさ
- ③道具をつくる創造的な手の働きと手指の巧緻性
- ④ことばと認識力 ⑤精神力(言語性、行為性、社会性、創造性、感情性、自我のコントロール)
- ⑥自律性と自立性を育てる

\*今年度の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

A・B・C・Dの4段階評価です該当する欄に○を付けてください。

A…大変良い B…良い C…一部検討を要する D…改善を要する

\*なお項目ごとに意見・改善策を記述してください。

### ◎保育の計画の編成と実践に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標	①保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	6人	15人	1人	0人	幼児、乳児ともに異年齢保育、交流保育を行い、他クラスの発達課題や目標を知る機会となった
	②目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	4	16	2	0	
	③目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	6	15	1	0	
	④目標は、前年度の反省を生かしているか。	6	15	1	0	
	⑤目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	8	11	3	0	
保育	① 保育計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。	10	12	0	0	異年齢の交流保育を行うなかで、環境設定を工夫することができた
	② 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	9	12	1	0	
	③ 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	8	13	1	0	
	④ 素材・用具を適切に活用しているか。	11	11	0	0	
	⑤ 評価結果をもとに、保育の改善に努めているか。	9	12	1	0	
時程	① 1日の流れ(デイリープログラムなど)は現行のままでよいか。	8	11	2	1	
行事	① 行事の種類や実施回数は適切か。	7	11	4	0	行事は保護者アンケートも視野に入れながら、ねらいを生かせるよう、人数や時間配分を考えた
	② 行事の狙いを計画や実施に十分生かしているか。	6	15	1	0	
	③ 乳幼児の活動を明確にし、自主的・実践的な活動か。	6	16	0	0	
	④ 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	7	13	2	0	
	⑤ 保護者の願いや意見を取り入れているか。	7	14	1	0	

◎保育の計画の編成と実践を支える諸条件に関する評価

経営・組織	分掌体制	① 能率的・合理的な運営組織になっているか。	3	14	5	0	午前睡の時に係の会議やミーティングがあまりできなかった
		② 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	3	16	3	0	
		③ 職員の配置は適材・適所か。	3	11	6	2	
		④ 係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	5	10	5	2	
	運営	① 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	3	14	4	1	
		② 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく、施設の運営に関わっているか。	4	16	1	1	
		③ 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	3	13	4	2	
	クラス経営	① 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	7	12	3	0	
		② 年齢別・クラス目標は、子どもの実態に即しているか。	9	11	2	0	
		③ 目標に迫る短期・長期のねらいは適切か。	5	14	3	0	
		④ 同年齢および異年齢間の効果的な活動の充実を図っているか。	8	12	2	0	
		⑥ 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	8	12	1	1	
		⑦ 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	8	12	2	0	
		⑧ 意図や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	8	12	1	1	
	保健・安全指導	① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	7	15	0	0	
		② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	9	12	1	0	
③ 健康・安全な生活に必要な習慣や態度の育成のために、家庭への啓発を行っているか。		10	10	2	0		
④ 子どもの安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		7	13	2	0		
研究・研修	所内	① 研究主題は、保育目標の具体化につながるものであるか。	9	11	2	0	
		② 所内研修の計画・運営は適切か。	6	13	2	1	
		③ 研究の成果を日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させているか。	6	11	5	0	
		④ 研究の実践により、子どもへの理解が深まっているか。	7	13	2	0	
	所外	① 各種研究会、研修会、講習会への参加態度の充実を図っているか。	5	13	4	0	
		② 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	5	14	3	0	
情報について	① 子どもや保護者に関する個人情報適切に取り扱っているか。	12	13	0	0		
	② 公文書收受、発送、処理、保管は適切か。	9	13	0	0		
	③ 各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	10	10	2	0		
施設・設備	① 施設内外の設備の安全点検は計画的か。	10	9	3	0		
	② 遊具・用具等を活用しやすく整理・保管しているか。	10	10	2	0		
	③ 不審者等に対応する周致な配慮を行っているか。	9	12	1	0		
	④ 掲示板・掲示場所等を有効に活用しているか。	9	12	1	0		
出納経理	① 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	9	13	0	0		

開 か れ た 保 育 所 作 り	施 設 間 交 流 ・ 連 携	①他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。	4	14	4	0	な か な か 他 施 設 と の 交 流 が で き て い な か っ た
		②他施設等の幼児・児童生徒などと触れ合うなかで、子どもが楽しく過ごし、充実感をもつことのできるような配慮や援助・支援を行っているか。	3	16	2	1	
		③指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	4	15	3	0	
		④参観や保育・授業などに参加するなどして、幼稚園・小学校・療育機関等の保育・教育を理解しているか。	6	12	4	0	
		⑤ 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。	4	16	2	0	
家 庭 ・ 地 域 社 会 と	①参観時間を制限せず、誰でも参観できる日を設定しているか。	5	14	2	1		
	② 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	4	14	4	0		
	③子どもの興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	5	14	3	0		
	④地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	3	16	2	1		
子 育 て 支 援 の 推 進	①地域の子育て支援センターとして、園庭や保育室などを開放しているか。	6	13	3	0	夏 場 は プ ール、そ の 他 の 季 節 等 に は 日 々 の 保 育 に 入 っ て も ら っ た り、 保 育 園 の 離 乳 食 を 一 緒 に 食 べ た り と、 地 域 の 子 ども た ち に 保 育 園 を 解 放 し、 一 緒 に あ そ ん だ り 子 育 て 相 談 等 が で き た	
	②地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	3	14	4	1		
	③[子育てについて]など保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	6	12	3	1		
	④職員による子育てに係る「子育て相談」は充実しているか。	4	15	3	0		
	⑤医療機関、児童相談所などの専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	5	14	3	0		
情 報 発 信	①保育所便り、クラス通信、ホームページなどで施設の情報を提供しているか。	8	13	1	0		
	②行事や子育て支援事業などを、地域の連絡会や児童施設、小学校などに対して周知している。	6	14	2	0		
外 部 評 価	① 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	8	13	1	0		
	② 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	7	14	1	0		

### 中長期的な目標の明文化

- ・他事業所との交流、地域との交流がより多く持てるようにしていきたいと思う
- ・職員同士がより協力し、仕事を円滑に進められるような楽しい環境を作れるようにする。また、給食職員としてより保育職員とコミュニケーションをとり、行事の手伝いや食育などで、保育にも積極的に携わってきたい
- ・近年は若い人の「食べる事」への関心が低下しているので、子どもたちに食べる事の楽しみや大切さを給食を通して知ってほしいと考える。